

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み ご家族様への積極的な参加の促し、参加者の減少など課題は多く、今後開催日の早期決定と、会議内容の充実、会議参加の為の、積極的なお声掛けが必要である。	入居者様御家族への会議参加、地域の方々の会議参加を促し、参加人数の充実を図る。 より多くの方に、等ホームでの活動、取り組みなど、活発な意見を抽出し、さらにホーム内での活動の充実を図っていく。	毎回、開催日1ヶ月前に、開催案内を出し、参加して頂けるよう、電話など直接連絡も行なっていく。 家族会にて提案を行っており、今後、随時お知らせを行なっていくことにて、了承も頂いている。	1年
2	35	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 入居時の話し合いの中で、元気な姿を望む御家族に対し終末期の話を切り出すことが出来ていない。 今後、家族会や個別にアンケートなど書面を利用し、話し合いを行ない、方針と支援にたいする意向を決定して行くことが必要である。	入居者様や御家族様の考えに添い、終末期に対する意向の把握、情報共有し、支援に努める。	家族会等で話し合いやアンケートにて調査を行ない、また、個別に終末期に関する話し合いを行なっていく。 その中で、細かな方針、支援内容の確認など、相談を行ない、御家族様及び入居者様の意向に添った支援に繋げていく。	1年
3	51	日常的な外出支援 人員配置及び、入居者様の状態により、多くの外出機会を持つことが出来ていない、各ユニット毎、個別に外出支援が出来るよう、入居者様や、御家族様の意向の把握に努めたい。	入居者様のケアの中に、個別対応も含め、公共機関等を利用した外出支援を行なっていく。	入居者様の意向に添って、今、本人様が行きたい場所などの把握し、個別に検討、相談を行ない、外出機会の提供、支援に繋げていく。	1年
4	14	人権教育・啓発活動について 昨年、成年後見制度及び、権利擁護についての勉強会等を行なってまいりました。 等ホームで働く職員の意識、知識の向上と、学ぶ機会を設けていけるよう努めていく。	勉強会の開催を行ない、ホーム全体でのスキルアップにつなげる。 その後、この勉強会を通して、人権意識の向上を目指し、様々な機会を利用した取り組みに繋げていく。	福岡市の出前講座、地域包括センターへ相談や依頼を行い、勉強会を開催する。 行政等で行なわれる講座など、積極的な参加を促し、より多くのスタッフに機会を設ける。	1年
5	37	災害対策 引き続き、多くの地域活動、行事に、参加していく。	引き続き、地域の防災訓練など、地区活動への参加をより多くのスタッフで行ない、地域に根差したホーム運営を行っていく。	地域、地区の防災訓練など、活動への参加を積極的行なっていく。 また、運営推進会議にて、防災に関する話を行ない、働きかけていく。	1年

注)項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。